

2009年度

科目名	医療情報薬学 I				
担当教員	小川 雅史、小西 廣己、初田 泰敏				
配当	薬科4			コード	53800
開期	前期	講時	金曜日3限	単位数	2
授業テーマ	【必須】 医薬品情報を活用するための収集、評価、加工法を学ぶ。				
目的と概要	薬物治療に必要な情報を医療チームおよび患者に提供するために、医薬品情報および患者から得られる情報の収集、評価、加工などに関する基礎的知識を修得し、それらを活用するための基本的技能と態度を身につけることを一般目標とする。				
成績評価法	試験の成績、授業態度、レポートなどを総合的に評価する。				
テキスト	医薬品情報学/山崎幹夫監修/東京大学出版会				
参考書	スタンダード薬学シリーズ6「薬と疾病 III 薬物治療(2) および薬物治療に役立つ情報」/日本薬学会編/東京化学同人 医薬品情報学ー基礎・評価・応用ー/折井孝夫編/南山堂 わかりやすい調剤学/岩川精吾他編/廣川書店				
履修に当たっての注意・助言	補助教員: 廣谷芳彦、上島秀樹、名徳倫明				
講義計画					
回数	授業形態	授業内容	到達目標(SBO)	コア対応番号	学習領域
1	講義	医療と医薬品情報	1. 医療における医薬品情報業務の必要性と概要を説明できる。	独自	知識
			2. 医薬品としての 必須の情報を列挙できる。	C15 (1)	知識
			3. 医薬品情報にかかわっている職種を列挙し、その役割を説明できる	C15 (1)	知識
2	講義	医薬品情報の発生と伝達	1. 医薬品の開発過程で得られる情報の種類を列挙できる。	C15 (1)	知識
			2. 医薬品の市販後に得られる情報の種類を列挙できる。	C15 (1)	知識
			3. 医薬品の開発から市販後調査までの過程で収集される情報の伝達のされ方を概説できる。	独自	知識
			4. 医薬品情報に関係する代表的な法律と制度について概説できる。	C15 (1)	知識
3	講義	医薬品情報源の種類と特徴	1・医薬品情報源の一次資料、二次資料、三次資料について説明できる。	C15 (1)	知識
			2. 厚生労働省、製薬企業などの発行する資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。	C15 (1)	知識
			3. 医薬品情報源としての代表的な二次資料、三次資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。	C15 (1)	知識
			4. 各種資料の加工度の違いによる使い分けを説明できる。	独自	知識
4	講義	医薬品添付文書の見方、読み方	1. 医療用および一般用医薬品添付文書の法的位置づけと用途を説明できる。	C15 (1)	知識
			2. 医療用および一般用医薬品添付文書に記載される項目を列挙し、その必要性を説明できる。	C15 (1)	知識
			3. 添付文書に特異的な用語(適宜増減、禁忌、緩徐など)の意味を説明できる。	独自	知識

5	講義	医薬品インタビューフォームの見方、読み方(1)	1. 医薬品インタビューフォームの位置づけと用途を説明できる。	C15 (1)	知識
			2. インタビューフォームの項目や用途について添付文書との違いを説明できる。	独自	知識
6	講義	医薬品インタビューフォームの見方、読み方(2)	1. インタビューフォームの項目の利用法が説明できる。	独自	知識
			2. 医薬品添付文書と医薬品インタビューフォームの使い分けができる。	C15 (1)	技能
7	講義	医薬品の安全性情報	1. 市販後の医薬品安全性監視の制度と提供される情報源を挙げるができる。	独自	知識
			2. 有害作用、有害反応、副作用の違いを説明できる。	独自	知識
			3. 過去に出された緊急安全性情報について、該当薬剤と内容を概説できる。	独自	知識
8	講義	医薬品情報の検索・収集と評価	1. 目的(効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など)に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。	C15 (1)	技能
			2. 代表的な医薬品情報源の基本的な検索法について説明できる。	独自	知識
			3. 医薬品情報を質的に評価する際に必要な基本的項目を列挙できる。	C15 (1)	知識
9	講義	医薬品情報の加工と提供	1. 医薬品情報を目的に合わせて適切に加工し、提供できる。	C15 (1)	技能
			2. 医薬品情報の加工、提供、管理の際に、知的所有権、守秘義務に配慮する。	C15 (1)	知識・態度
			3. 主な医薬品情報の提供手段を列挙し、それらの特徴を説明できる。	C15 (1)	知識
10	講義	医薬品情報データベース(1)	1. 代表的な医薬品情報データベースを列挙し、それらの特徴を説明できる。	C15 (1)	知識
			2. 報調査の段階的な流れを説明でき、主な2次資料、データベース・インターネットなどの調査の仕方を概説できる。	独自	知識
11	講義	医薬品情報データベース(2)	1. 医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、適切に検索できる。	C15 (1)	知識・技能
			2. インターネットなどを利用して代表的な医薬品情報を収集できる。	C15 (1)	技能
12	講義	医薬品情報の臨床活用	1. 質疑内容の種類に応じて利用する情報源の違いを概説できる。	独自	知識
			2. 病院における主な能動的情報提供法を説明できる。	独自	知識
13	講義	基本的な患者情報	1. 薬物治療に必要な患者基本情報を列挙できる。	C15 (2)	知識
			2. 患者情報源の種類を列挙し、それぞれの違いを説明できる。	C15 (2)	知識
14	講義・演習	医薬品情報および患者情報を利用した患者指導の実践(1)	1. 医薬品情報と患者背景に基づき、インフォームドコンセントと守秘義務などに配慮した適切な服薬指導の方法を学ぶ。	独自	知識・技能・態度
15	講義・演習	医薬品情報および患者情報を利用した患者指導の実践(2)	1. 医薬品情報を活用した、適切な患者応対と接遇の仕方を学ぶ。	独自	知識・技能・態度

授業方法					
一般 目標	学習方法	場所	教員数 (補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
C15 (1) C15 (2) 独自 (医薬 品情報 の講義 関係)	講義	講義室	3	配布資料(プリントなど) パワーポイント	90x13
独自 (演習 関係)	講義、ス モールグ ループ ディスカッ	講義室 模擬薬局 模擬診察室	3(3)	配布資料(プリントなど) パワーポイント	90x2